

一般質問 Q & A



共に創る掛川
窪野 愛子

男女共同参画推進には世代に応じた教育・学習の機会を

Q 本市の男女共同参画の意識は依然高まっています。制度・慣行の見直し、固定的役割分担意識の脱却には、低年齢層から人権尊重・男女平等の教育・学習の機会が必要と思うがいかがが。

A 意識改革のための教育や学習を検討

男女共同参画社会の実現には、様々な場面や各世代の意識改革が必要であり、そのための教育や学習が重要です。

先進的な取り組みをしている宣言事業所や地域の事例を集約し、情報発信をすることで、各分野で活躍している女性代表とのシンポジウムの開催などを検討していきます。

「おたふくかぜ」ワクチン接種には公費助成を

Q ムンプスウイルス感染症による難聴の発症が増えていくという報告がある。ムンプス難聴を発症する恐れのあるおたふくかぜのワクチン接種に、公費助成の考えはないか伺う。

A 国・県の動向を踏まえて検討

おたふくかぜ混合ワクチン接種は副反応の無菌性髄膜炎が発症したため、現在は単独の任意接種とされています。厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会で定期予防接種の対象となるか、引き続き検討がなされています。国、県の動向を踏まえて検討していきます。

【その他の質問事項】

・本市中学生の英語力「聞く・話す・読む・書く」の向上について



日本共産党
勝川 志保子

浜岡原発を巡る再稼働合意のあり方は

Q 浜岡原発の再稼働の同意の範囲と、市民合意の取り方をどのように考えているか。

A 再稼働は市民の理解が必要

再稼働の同意の範囲は、当然、周辺4市の同意が必要と考えています。が、原子力発電所から30キロ圏内のUPZ（緊急時防護措置を準備する区域）が、原子力災害対策指針により示されたため、UPZ圏内にある11市町の同意が必要ではないかと考えています。

また、浜岡原子力発電所の再稼働は、万全の安全対策が終了し、将来にわたり安全・安心が確保され、国と中部電力が、市民に対し、しっかりと説明し、市民の理解が得られなければ再稼働できないと考えています。

仮に浜岡原発の再稼働について、市民や議会の意見が

賛成や反対に大きく分かれた場合、掛川市では、住民投票条例を制定しているのので、市民や議会及び市長の三者に住民投票の発議権があり、これを活用する方法も考えられます。

Q 掛川の玄関口である駅やお城周辺の草刈りや維持管理に責任を持った体制を

掛川の玄関口である駅やお城周辺・逆川土手などの手入れがゆき届かず、草が生い茂っている。全体をコーディネートする部門を設け、責任をもった維持管理を市としてすべきではないか。

A 管理計画による適切な維持管理

望ましい時期に発注するなど、維持管理体制を検討するとともに、全体の管理計画を作成し、適切な維持管理に努めていきます。

【その他の質問事項】

・条例の理念を実現する中小企業振興政策の推進について
・子育て世代の願いに応える待機児童解消政策のあり方について